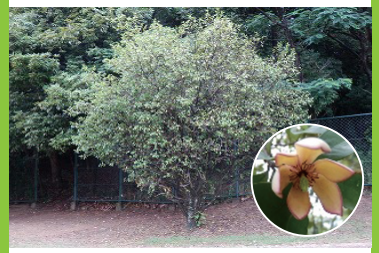
千鳥ケ池のトウオガタマ



常緑小高木で、花は小型で黄白色、バナナににた強い香りがする。

町川原のフジの木

樹齢は約60年で、４月から5月に葉から薄紫色の蝶形の花を多数下向きに咲かせる。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

鮎坂山（西山）下のアカガシ

樹齢は約200年で、実はドングリ。幹の断面が淡い褐色ということから「アカガシ」という名がついたといわれる。

ムーミンの木

五所八幡宮の参道にある樹齢約1000年のクスノキ。その幹の巨大なコブが「ムーミン」のように見える。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

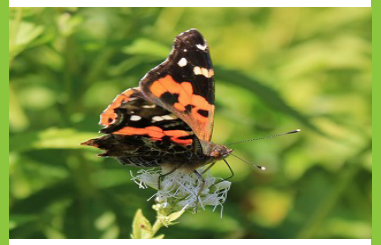
花鶴が浜のハマボウ

樹高は約3ｍで、7月から8月にかけて、黄色の美しい花を咲かせる。花鶴川河口に生育し、植栽している。

アサギマダラ

ふわふわと風に乗るように優雅に舞う大型で美しい蝶。好んでフジバカマの花に訪れる。海を渡り、長距離移動をする。

ヒメアカタテハ



アカタテハよりもやや小型で色合いも淡い。開けた所を好む蝶である。タンポポやコスモスなどの花に訪れる。

メジロ

黄緑色をしており、目の周りが白くなっているという特徴がある。冬は庭木にもよく見られる。

ニホンウナギ

マリアナ諸島沖の深海で生まれ、黒潮にのって北上し、長い距離を大根川まで旅してくる。
絶滅危惧Ⅱ類(環境省)

千鳥ケ池のシャシャンボ

樹高は、約1mから約5mになり、５月から７月にかけて、白色の壺状の花を多数咲かせる。

ハマユウ

太い花茎の先に香りのよい白い花を１０数個咲かせる。夕方から開き始め、深夜に満開になる。

ハマヒルガオ

ハート形の葉は固く、水分の蒸発を防ぐようになっており、乾燥した土地から身を守っている。ピンクの鮮やかな花を咲かせる。

ハマニガナ

長い地下茎を伸ばし、葉だけ地上に出す。葉は、３つから5つに深く裂けた形をしており、４月から10月に黄色い花を咲かせる。

ハマゴウ

海岸に生息する常緑低木。茎は、砂の上を這い、枝は立ち上って淡青紫色の花を咲かせる。

オニユリ

草丈は約1mから約2mになる大型のユリ。7月から8月にかけて、オレンジ色で暗紫色の斑点がある花を咲かせる。

ニホンアマガエル

体長は約2cmから約４cm。体色は腹側が白色で背中側が黄緑色。指先に吸盤があり、ガラス窓に張り付くこともできる。

ゲンジボタル

体長は12cmから18cmの水ボタル。古賀市内で見られるホタルは、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル、オオマドボタルの4種類。

オイカワ

全長は約15cm。オスは、繁殖期になると鮮やかな赤や青緑色になる。大根川では、中流から下流で見られる。

カスミサンショウウオの幼生

10㎝くらいの小型のサンショウウオ。幼生は水中で生活し、成体は、陸上で生活する。
絶滅危惧Ⅱ類(環境省)

ミナミメダカ

体長は約４cm。以前は田んぼや水路などで見られていたが、今は大根川の中流から下流の水草帯で見られる。
絶滅危惧Ⅱ類(環境省)

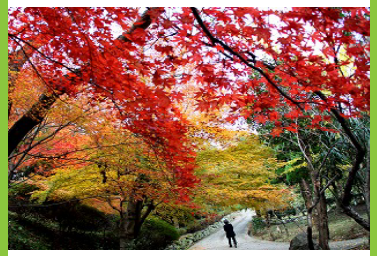
古賀の海岸とハマガニ

花鶴川が流れ込む玄界灘の白砂青松の浜には、鳴砂と言われる場所もあり、ハマガニ、ベンケイガニも住んでいる。

興山園の桜

興山園は、米多比にある個人経営の自然公園。桜の花見時期は、約千本の桜が山の斜面を一面に彩る。

興山園の紅葉



興山園は、米多比にある個人経営の自然公園。秋には、紅葉谷をはじめ山一面が紅く染まる。

コオニヤンマ

体長は80mm程度。成熟したオスは、河川の石や樹木の枝先などに静止して縄張りをつくり、川の流れに沿って飛び回る。

オドリコソウ

草丈は約30cmから約50cm。４月から6月にかけて咲き、ピンク色の花を輪になって数個つける形が、笠をかぶった踊り子のように見える。

薦野のホルトノキ

暖かい土地に生える常緑高木。年中一部の葉が紅葉している。6月から7月に、白い小さな花を咲かせる。

フデリンドウ

乾いた草地や明るい林に生育し、茎先に青紫色の花を数輪つける。晴天時は開花し、雨天時は、閉じている。

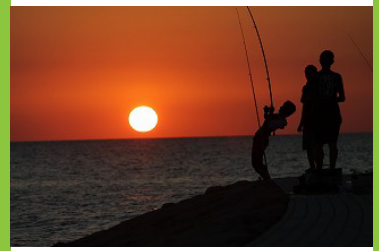
コスモス

古賀市の花に指定されている。花の時期は、7月から12月。秋を代表する花ではあるが、早いものは夏の時期から咲いている。

筵内の菜の花道

古賀市筵内地区にある菜の花畑。春には約300万本の花が畑一面に咲き、訪れる人たちを楽しませてくれる。

古賀の海岸に沈む夕日



９月24日、この日は太陽がちょうど真西に沈む日。18時頃には、真西の方角に鮮やかなオレンジ色の夕日がゆっくりと水平線に消えていく。

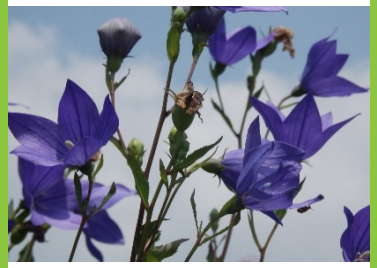
ケリ

全長は約34 cm。雌雄同色で、くちばしは短く、黄色で先端が黒い。足は長くて黄色。目は赤橙色でふちが黄色くなっているという特徴がある。

皇石神社のクロガネモチ

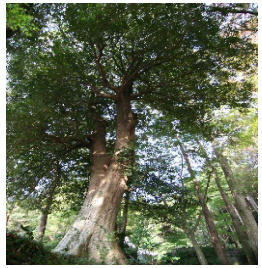
樹齢は約400年で、幹回り約4m、高さ約13m。若枝や葉柄が黒紫色になる。実は赤くなる。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

キキョウ



秋の七草のひとつ。
6月から8月に、紫または白い花を咲かせる。
絶滅危惧Ⅱ類(環境省)

清龍寺のイスノキ

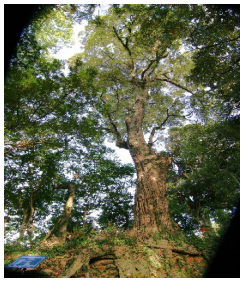


樹齢は約300年で、幹回り約4m、高さ約20mになる巨木。県の天然記念物に指定された木である。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

トウヨシノボリ

体長は約７cm。ヨシノボリ類の腹びれは、吸盤状になっていて垂直な壁も登ることができる。大根川では中流で見られる。

小山田斎宮のイチイガシ



樹齢は約1100年で、幹回り約4.1ｍ、高さ約30ｍ。県の天然記念物に指定された森の中にある。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

シジュウカラ

灰色っぽく見え、ほほが白く、のどから腹にかけて黒い模様がある。
絶滅危惧IA類（環境省）

カワセミ

河水面に飛び込んで、魚をとったり水浴びをしたりする。土の崖の斜面に穴を掘って繁殖する。雄の下くちばしは赤い部分がない。

バン

体長は約30cm。額板が赤く、クチバシが黄色。警戒心が強く、あまり姿を見せない。大根川の下流に見られる。

天降神社のクスノキ

樹齢は約800年で、幹回り約7.7ｍ、高さ約21ｍ。社寺の境内に多くみられる。巨木になりやすい。

古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。

スジシマドジョウ

体長は約４cmから10cm。淡い肌色や乳白色の体色で、体側に暗褐色の縦縞と尾びれに２つの斑紋がある。大根川中流に見られる。

カワムツ

体長は約15cm。側面は青藍色を帯びており、動きが素早く流れの速い場所にいる。大根川中流を代表する魚の一つである。

サワガニ

日本で唯一淡水のみで暮らすカニ。水のきれいな山や谷川、小川に住んでいる。大根川の上流にみられる。

ハイイロゲンゴロウ

水田に多く見られる中型のゲンゴロウ。
淡黄色に黒い点刻が多数あり、灰色に見えることからハイイロの名前がついたといわれる。

ジョウビタキ

オスは顔から羽までが黒く、白い斑点が特徴。身体を上下に良く動かす習性がある。

小野小のカイズカイブキ

樹齢は約140年で、幹回り約３ｍ、高さ約10ｍ。生垣としてよく植栽される。
古賀市「未来に残したい巨木」に指定されている。